



校長通信

令和4年度23号 令和4年12月19日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《市駅伝大会で、河北中学校健闘！》

12月10日（土）穏やかな冬日和の下、紀三井寺公園運動場において、令和4年度第75回和歌山市中学校駅伝競走大会が開催され、河北中学校から男子2チーム、女子2チームが出場しました。

この日の大会のため、早朝練習で鍛えて来た成果を十分に発揮し、見事、男子Aチームが3位、女子Aチームが6位に入賞しました。

男子Bチーム、女子Bチームも、入賞こそありませんでしたが、熱い想いをタスキでつないで、力走しました。

子供たちの頑張っている姿に、勇気と感動をもらいました。駅伝部の選手諸君、お疲れさまでした。よくがんばりました。



《駅伝大会、応援を終えて！ パートⅡ》

昨年度発行した校長通信令和3年度18号で、駅伝大会の結果と「駅伝大会、応援を終えて」というタイトルで、紀三井寺運動公園近くの名草山に登った話を掲載しました。今回も、紀三井寺運動公園近くの、とあるスポットに立ち寄ったので、その話を紹介したいと思います。

紀三井寺運動公園といえば、和歌山市毛見にあります。すぐ近くの毛見トンネルを抜けると、そこは海南市。海南市と言えば、私が20代半ばから30代後半まで、勤めた学校がある町です。

話は、少しそれるのですが、テレビ和歌山で毎週土曜日午後6時15分から放映されている「あのじゅうよ〜」という番組をご覧になったことはありますか。和歌山の昭和時代の古い写真や映像から、その土地に行き、関係者から話を聞いて、当時の記憶をたどっていく番組です。12月3日に放映された場所は、海南駅前1番街商店街でした。1番街のハンバーガー店の店長さんが、インタビューで、昭和の人通りの多い、にぎやかで活気があった頃の海南駅前商店街の話を語っていました。この方は、私が約25年前に担任をもった生徒のお母さんでした。なつかしくなり、駅伝が終わったら、海南駅前ハンバーガーショップで昼食をとろうと決めました。

当日、レジでオーダーしようとしたら店長さんが、「あれ〜戸川先生ちがうん？」と和歌山弁で話しかけてくれました。なんと、私を覚えてくれていたのです。今は、娘さんは九州で住んでいて、結婚して子どもさんにも恵まれ、幸せな家庭を築かれているそうです。おいしいハンバーガーを頂きながら、とても嬉しい気分になりました。

今から振り返れば、若かりし頃、新米教師であった戸川教諭は、指導力もあまりないのに、根拠のない自信だけがあり、周囲にたくさん迷惑をかけていたかもしれません。そんな中、家庭訪問では、保護者の方が、玄関先に出て、私の到着を待っていてくれたり、顧問を務めた野球部では、練習試合で保護者が率先して審判をしてくれたり、保護者や地域から温かく、親切にいただいたことを思い出しました。

午前中の駅伝部の健闘、午後のおいしいハンバーガーと海南市での思い出のおかげで、とてもハッピーな休日となりました。